

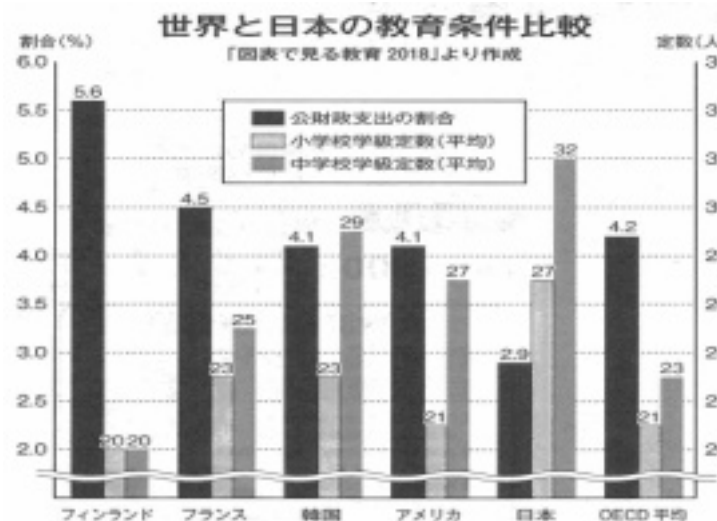
国・府の責任で教育条件整備を
みんなの願い30人学級

[illegible]

現在の制度では、1クラスの人数は小学校2年生までは35人まで、小学校3年生以降は40人までとなっています。多くの地方自治体では、保護者や子どもたち、地域住民の願いをもとに独自に予算措置をして35人以下学級をすすめています。しかしこれでは自治体間格差が広がる一方です。予算を含めた教職員の配置は、国の責任でおこなわれるべきです。

少子化で子どもたちが少なくなっている今こそ、学校統廃合をすすめるのではなく、少人数学級をすすめるチャンスです。

教育予算の増額を



日本の教育条件は、世界に大きな遅れをとっています。グラフの通り、小中学校の1学級あたりの児童・生徒数が多く、OECD加盟国の中でも、窮屈な教室になっています。一方で、全体予算に占める教育費の割合は、OECD加盟国中最下位です。

教育予算の十分な増額はなく、つめこみの教室で、子どもも教師も疲弊しています。子どもたちがゆとりをもって豊かに学び、教師も余裕をもって働ける教育条件も抜本的な改善を求めることが重要です。

障害児学校の 過大・過密の解消を

障害児学校では、増え続ける児童・生徒に対する学校建設は教室やトイレなどの整備が迫いついていません。

特別教室は普通教室になり、トイレも全く足りません。校庭いっぱいにはプレハブ校舎が建ち、運動会ができない学校も。

障害児学校だけに設置基準がないことが大きな原因です。



教育要求署名にご協力ください